平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月9日

上場会社名　文化シヤッター株式会社　　上場取引所　東
コード番号　5930　URL　http://www.bunka-s.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 茂木　哲哉
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 西村　浩一　TEL 03-5844-7200

四半期報告書提出予定日　平成23年8月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	20,685	0.9	39	―	51	―	△142	―
23年3月期第1四半期	20,502	0.4	△441	―	△621	―	△1,855	―

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　△387百万円　(―%)　23年3月期第1四半期　△2,384百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△2.16	―
23年3月期第1四半期	△27.03	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	78,052	28,954	37.1
23年3月期	80,400	29,539	36.7

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　28,954百万円　23年3月期　29,539百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	3.00	―	3.00	6.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		3.00	―	3.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

平成24年3月期の配当予想につきましては、東日本大震災の影響により、業績予想の算定が困難であるため未定としておりましたが、平成24年3月期の業績予想の算定に伴い、上記のとおり公表いたします。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	45,000	2.8	500	―	600	―	400	―	6.09
通期	100,000	2.8	2,200	183.9	2,600	130.5	1,900	22.7	28.91

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、東日本大震災の影響により、合理的な算定が困難であるため未定としておりましたが、最近の事業環境及び業績動向等を踏まえ、上記のとおり公表いたします。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P. 3「(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	72,196,487 株	23年3月期	72,196,487 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	6,476,439 株	23年3月期	6,475,185 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	65,720,650 株	23年3月期1Q	68,665,820 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)P. 2「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により、企業の生産活動、個人消費等は大幅に落ち込み厳しい状況で推移いたしました。サプライチェーンの問題は急速に緩和されてきているものの、円高の進行や電力の供給不安等の影響により、依然として先行きの不透明感は拭いきれない状況であります。

当グループを取り巻く建設・住宅業界におきましても、設備投資に一部持ち直しの傾向が見られるものの、依然として厳しい事業環境が続いております。

このような状況下におきまして、当第１四半期連結累計期間の売上高は20,685百万円(前年同期比0.9%増)となりました。収益面では、原価及び固定費など企業コストの削減に努め、営業利益は39百万円（前年同期は営業損失441百万円）、経常利益は51百万円（前年同期は経常損失621百万円）となり、前年同期に計上した課徴金の影響が無くなったこともあり、四半期純損失は142百万円（前年同期比1,713百万円の改善）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

１．シャッター関連製品事業

設備投資の抑制に伴う需要の減少等の影響から概ね低調傾向にあり、当第１四半期連結累計期間の売上高は8,572百万円（前年同期比0.4%減）となりましたが、コスト削減に努めました結果、営業利益は696百万円（前年同期比102.2%増）となりました。

２．建材関連製品事業

エクステリア及びドア・パーティションが低調傾向にあり、当第１四半期連結累計期間の売上高は6,573百万円（前年同期比1.6%減）、営業損失は199百万円（前年同期は営業損失275百万円）となりました。

３．サービス事業

連結子会社文化シヤッターサービス株式会社を中心に、修理・メンテナンス等が堅調に推移しました結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は3,193百万円（前年同期比17.5%増）、営業利益は242百万円（前年同期比158.5%増）となりました。

４．リフォーム事業

連結子会社ゆとりフォーム株式会社を中心に、競争激化の市場環境の中で低調傾向にあり、当第１四半期連結累計期間の売上高は1,908百万円（前年同期比4.0%減）、営業損失は49百万円（前年同期は営業損失18百万円）となりました。

５．その他

不動産賃貸事業が低調傾向にあり、当第１四半期連結累計期間の売上高は437百万円（前年同期比15.2%減）、営業損失は12百万円（前年同期は営業利益7百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末の総資産は78,052百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,348百万円減少しました。流動資産は50,690百万円となり、1,683百万円減少しました。これは、商品及び製品が増加（1,370百万円）した一方で、受取手形及び売掛金が減少（4,446百万円）したことが主な要因であります。固定資産は27,362百万円となり、665百万円減少しました。これは、投資有価証券が減少（263百万円）したことが主な要因であります。

当第１四半期連結会計期間末の負債は49,097百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,763百万円減少しました。流動負債は28,837百万円となり、1,482百万円減少しました。これは、短期借入金が増加（1,199百万円）した一方で、支払手形及び買掛金が減少（2,287百万円）したことが主な要因であります。固定負債は20,259百万円となり、280百万円減少しました。これは、長期借入金が減少（200百万円）したことが主な要因であります。

当第１四半期連結会計期間末の純資産は28,954百万円となり、前連結会計年度末に比べ584百万円減少しました。これは、その他有価証券評価差額金の減少（264百万円）、配当金の支払い（197百万円）及び四半期純損失の計上（142百万円）が主な要因であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期の連結業績予想につきましては、平成23年５月11日の平成23年３月期決算発表時に、東日本大震災の影響により合理的な算定が困難であるため未定としておりましたが、最近の事業環境及び業績動向等を踏まえ、連結業績予想を算定しております。なお、当該予想に関する詳細は、本日（平成23年８月９日）公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,906	13,463
受取手形及び売掛金	27,913	23,467
商品及び製品	5,965	7,336
仕掛品	750	735
原材料及び貯蔵品	2,308	2,438
その他	2,885	3,487
貸倒引当金	△357	△239
流動資産合計	52,373	50,690
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,992	6,902
土地	7,783	7,801
その他（純額）	2,720	2,659
有形固定資産合計	17,497	17,363
無形固定資産		
のれん	4	4
その他	722	708
無形固定資産合計	727	712
投資その他の資産		
投資有価証券	5,585	5,322
その他	5,380	5,300
貸倒引当金	△1,162	△1,290
投資損失引当金	－	△46
投資その他の資産合計	9,803	9,286
固定資産合計	28,027	27,362
資産合計	80,400	78,052

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,766	17,478
短期借入金	1,800	3,000
未払法人税等	536	230
賞与引当金	1,382	820
役員賞与引当金	7	8
工事損失引当金	128	135
災害損失引当金	60	20
資産除去債務	―	6
その他	6,638	7,137
流動負債合計	30,320	28,837
固定負債		
長期借入金	2,800	2,600
退職給付引当金	15,781	15,696
役員退職慰労引当金	467	446
負ののれん	20	17
資産除去債務	49	43
その他	1,421	1,455
固定負債合計	20,540	20,259
負債合計	50,861	49,097
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,051	15,051
資本剰余金	11,159	11,159
利益剰余金	4,739	4,400
自己株式	△1,910	△1,910
株主資本合計	29,040	28,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	610	346
土地再評価差額金	0	△1
為替換算調整勘定	△111	△90
その他の包括利益累計額合計	499	254
純資産合計	29,539	28,954
負債純資産合計	80,400	78,052

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	20,502	20,685
売上原価	15,094	15,003
売上総利益	5,407	5,682
販売費及び一般管理費	5,848	5,642
営業利益又は営業損失（△）	△441	39
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	59	75
負ののれん償却額	2	2
助成金収入	40	4
株式割当益	53	－
投資事業組合運用益	－	227
その他	61	80
営業外収益合計	219	393
営業外費用		
支払利息	15	27
持分法による投資損失	344	223
その他	40	131
営業外費用合計	400	381
経常利益又は経常損失（△）	△621	51
特別利益		
固定資産売却益	－	0
移転補償金	1,620	－
その他	5	－
特別利益合計	1,625	0
特別損失		
固定資産売却損	0	－
固定資産除却損	6	2
減損損失	10	－
貸倒引当金繰入額	3	－
課徴金	2,025	－
特別補修費	10	－
割増退職金	363	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	111	－
その他	236	－
特別損失合計	2,768	2
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△1,765	48
法人税等	90	190
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△1,855	△142
四半期純損失（△）	△1,855	△142

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△1,855	△142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△507	△252
為替換算調整勘定	△8	7
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	△0
その他の包括利益合計	△528	△245
四半期包括利益	△2,384	△387
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,384	△387
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成22年４月１日　至平成22年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	シャッター関連製品事業	建材関連製品事業	サービス事業	リフォーム事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	8,603	6,439	2,718	1,987	19,748	754	20,502	－	20,502
セグメント間の内部売上高又は振替高	511	0	143	0	656	24	680	(680)	－
計	9,114	6,439	2,861	1,988	20,404	778	21,182	(680)	20,502
セグメント利益又は損失（△）	344	△280	93	△18	139	12	151	(592)	△441

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、家具製造販売事業、保険代理店事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失(△)の調整額△592百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△589百万円、棚卸資産の調整額△３百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	シャッター関連製品事業	建材関連製品事業	サービス事業	リフォーム事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	8,572	6,573	3,193	1,908	20,248	437	20,685	－	20,685
セグメント間の内部売上高又は振替高	681	0	267	0	950	23	973	(973)	－
計	9,254	6,574	3,460	1,909	21,198	460	21,659	(973)	20,685
セグメント利益又は損失（△）	696	△199	242	△49	689	△12	676	(636)	39

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、家具製造販売事業、保険代理店事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失(△)の調整額△636百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△632百万円、棚卸資産の調整額△４百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

前第１四半期連結累計期間において「その他」に含めて表示していた事業セグメント「ステンレス製品事業」は、当第１四半期連結累計期間より報告セグメント「建材関連製品事業」へ表示を変更しております。これは、「建材関連製品事業」の経営実態をより適切に表示するため、製品の類似性の見直しを行い、変更したものであります。なお、前第１四半期連結累計期間の「その他」に含めて表示していた「ステンレス製品事業」の外部顧客への売上高は238百万円、セグメント間の内部売上高又は振替高は２百万円、セグメント利益は４百万円であります。また、前第１四半期連結累計期間のセグメント情報を、当第１四半期連結累計期間において用いた区分の方法により表示すると次の通りとなります。

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	シャッター関連製品事業	建材関連製品事業	サービス事業	リフォーム事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	8,603	6,677	2,718	1,987	19,986	515	20,502	－	20,502
セグメント間の内部売上高又は振替高	511	3	143	0	658	21	680	(680)	－
計	9,114	6,680	2,861	1,988	20,645	537	21,182	(680)	20,502
セグメント利益又は損失（△）	344	△275	93	△18	143	7	151	(592)	△441

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、家具製造販売事業、保険代理店事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失(△)の調整額△592百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△589百万円、棚卸資産の調整額△３百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。